



発行所 三四会医学部新聞編集室 千160-8582 東京都新宿区信濃町35 電話(3353)1211 内線64996 会員については会費を 発行に 武田 純三 毎月 1 回20日発行

三四会ホームページ



信濃町駅前・各種診療 慶應義塾大学病院 外来診療時間(午前9時～午後5時) 午後5時～午後8時(夜間・休日) 電話 03-3353-1211(内線64996)

新春特別座談会 コロナ禍を超えて、さらに上を目指す慶應医学

～「新生慶應医学」でのスタート～

2021年は、慶應義塾新執行部、医学部、病院ともに新しいリーダーが誕生し、「新生慶應医学」が歩み始めた年となりました。この顔ぶれで初めて迎える2022年には、慶應義塾大学病院のエントランス棟なども完成し、いよいよグランドオープンとなります。また、長期におよぶコロナ禍についても、まだ余談を許さないとはいえ、明るい兆しがなければなりません。そのような中、医学部、病院、信濃町キャンパス、三四会がどのように進み、連携しつつ共に発展していくのか、2022年のビジョンを語り合っていました。(本文中は敬称略)

■聞き手：医学部新聞編集委員長



武田 純三(52回) 三四会会長
北川 雄光(65回) 常任理事
金井 隆典(67回) 医学部長

新執行部で迎えた「激動の年」 コロナ禍で明らかになった課題

武田 皆さん、新年明け、学部、病院だけでなく、限がある中であります。ましておめでとくおめでとうございます。本日はお集まりいただきありがとうございます。今年こそ新型コロナウイルスの感染拡大が終息することを期待してありますが、その中でも医療を支えていた、という先生方から、新年に向けてのお気持ちをお聞かせください。ありがとうございます。お集まりいただきありがとうございます。お集まりいただきありがとうございます。

慶應病院がグランドオープン 次の100年を視野に大きく飛躍

北川 2021年10月に伊藤院長が発表された「慶應義塾大学病院 2021-2022-2023」という3年間の展望は、まさに「未来の先導者、グローバルシナジー」としての理想の追求を基本概念として、「民主主義と社会の健全な発展」「協和の促進」「持続可能な社会の構築」という3つの柱から成り立っています。その中で、2022年4月のグランドオープンを迎えることが、まさに「未来の先導者、グローバルシナジー」としての理想の追求を基本概念として、「民主主義と社会の健全な発展」「協和の促進」「持続可能な社会の構築」という3つの柱から成り立っています。



病院長 松本 守雄(65回)



医学部新聞編集委員長 門川 俊明(70回)



三四会会長 武田 純三(52回)



常任理事 北川 雄光(65回)



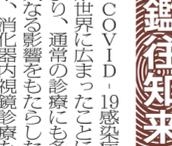
医学部長 金井 隆典(67回)

北川 私たちの頃は、大学が「研究」の場であり、先生が「教育」の場であり、学生が「学習」の場であり、というように、それぞれが役割を担っていました。しかし、今は違います。先生方も、学生も、それぞれが「研究」の場であり、先生が「教育」の場であり、学生が「学習」の場であり、というように、それぞれが役割を担っています。

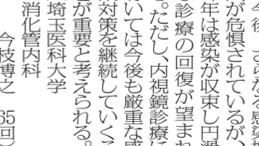
世界トップを目指して 若い世代が輝く医学部・病院に

北川 医学部新聞12月号のインタビューで、若い世代の医師が活躍する場を創出する必要がある、というお話がありました。これは、まさに「未来の先導者、グローバルシナジー」としての理想の追求を基本概念として、「民主主義と社会の健全な発展」「協和の促進」「持続可能な社会の構築」という3つの柱から成り立っています。

武田 今回の感染拡大で、三四会が大きな役割を果たしています。その中でも、医学部が大きな役割を果たしています。先生方も、学生も、それぞれが「研究」の場であり、先生が「教育」の場であり、学生が「学習」の場であり、というように、それぞれが役割を担っています。



COVID-19 感染症 鑑別知来 今年、感染が収束し、内視鏡検査の再開が望まれます。しかし、内視鏡検査の再開には、感染対策が重要です。先生方も、学生も、それぞれが「研究」の場であり、先生が「教育」の場であり、学生が「学習」の場であり、というように、それぞれが役割を担っています。



武田 今年、感染が収束し、内視鏡検査の再開が望まれます。しかし、内視鏡検査の再開には、感染対策が重要です。先生方も、学生も、それぞれが「研究」の場であり、先生が「教育」の場であり、学生が「学習」の場であり、というように、それぞれが役割を担っています。